

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(宝達志水町)立(押水第一小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(仲島 健太)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・年間研修計画についての説明 ・電子黒板の操作研修会	推進リーダー	第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月		推進リーダー	・第2回GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	・操作研修及び活用事例報告会①	推進リーダー	
7月	・情報モラル教育についての研修(夏季休業)	推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、教師共に1日に1回は端末を使用する。</li> <li>・低学年は1つ以上、中学年は2つ以上、高学年は3つ以上のアプリケーションを扱った経験がある。</li> <li>・教師が「文書作成」「プレゼン」「表計算」を共同編集する場面を授業で取り入れたことがある。</li> </ul>		
8月	・1学期の取り組みのふり返りと2学期の取り組みの確認 ・前期取り組み発表資料の作成	全員 推進リーダー	
9月			第2回GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	・操作研修及び活用事例報告会②	低学年	
11月	・操作研修及び活用事例報告会③	中学年	
12月	・2学期の取り組みのふり返りと3学期の取り組みの確認 ・操作研修及び活用事例報告会④	全員 推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年は2つ以上、中学年は3つ以上、高学年は4つ以上のアプリケーションを使うことができる。</li> <li>・高学年児童はアプリを選択して必要に応じて使用することができる。</li> <li>・教師が「文書作成」「プレゼン」「表計算」を共同編集する場面を授業で取り入れ、上手くいった実践と上手くいかなかった実践を共有したことがある。</li> </ul>		
1月	・操作研修及び活用事例報告会⑤	高学年	
2月	・研修実践報告の作成	推進リーダー	
3月	・今年度の成果と次年度への課題の整理	全員	・GIGAスクール校内研修推進リーダー研修実践報告

## 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、教員共に端末の使用にかかる技能が向上した。</li> <li>・授業では、アプリケーションを用いることにより、意見交流が活性化した。</li> <li>・書くことが苦手な児童でも意欲的に授業に参加できるようになった。</li> <li>・年度当初より、積極的にICTを取り入れようとする教員が増加した。</li> <li>・研修やOJTにより、活用できる幅を広げることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間中に端末をどこまで使用してよいかの線引きが難しい。</li> <li>・端末上に授業の記録は残るが、児童が使用しているノートには残らないので連携が難しい。</li> <li>・授業のどこで、どんな場面で使用することが最も有効なのか模索する必要がある。</li> <li>・児童の発達段階に応じた情報モラル教育の計画を立てる必要がある。</li> </ul>

## 校内研修のアイディア

- ・終礼後の短い時間で実践の共有を行い、自己の実践に生かす。
- ・授業等で用いたワークシートのデータを職員のドライブに蓄積し、それをを用いながら実践の共有を行う。また、他の学年でも応用して使えるようにしておく。
- ・学校研究用の共有ドライブを作成し、校内研修会や校内OJTの資料を入れることで、スムーズな会の進行及びデータの蓄積を行う。
- ・職員会議及び、校内のアンケート等は端末を用いて実施し、教職員が使うことに慣れると共に、業務の効率化を図る。
- ・年間を通してICTが苦手な教員に対し、端末の操作方法を教える機会を随時もつ。
- ・ICTサポーターと連携して研修の場を設けたり、共に授業を行ったりする。

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全ての教員が、ICTを活用しての表現力の育成場面、情報活用能力の育成場面を計画的に授業で取り入れている。
- ・全ての教員が、Googleクラスルームを用いて課題の配付や回収機能を効果的に利用することができる。
- ・全児童が、カメラ機能、課題提出機能、共同編集機能を利用することができる。特に高学年児童においては、授業及び学校行事等で使用するアプリを選択して活用することができる。

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(宝達志水町)立(宝達小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(池島 綾香)

## 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

### 成果

- [児童]  
 ・ICTを使って自分の考えを表すことができた。  
 ・ICTを使うことで、話し合いたいという意欲があがった。
- [教師]  
 ・校内研修(OJT)の時間が確保されたことで、授業での具体的なICTの活用方法を学ぶことができた。  
 ・業務の効率化を図ることができた。

### 課題

- [児童]  
 ・少人数学級であるがゆえにICTを使って考えを表す必要感があまり感じられない。  
 ・情報モラル教育の継続的な指導が必要である。
- [教師]  
 ・児童の目指す姿を共有することができなかった。  
 ・ICT活用能力に個人差がある。

## 校内研修のアイデア

月に1回、動画視聴や演習、実践報告などの校内研修を行う。

### ICTの活用例紹介

・動画視聴や演習などから授業で活用できるアプリケーションの使い方や活用場面を学ぶ。

### 学校研究

・学校研究「主体的に学び、解決する子の育成～対話を通して～」と連動して取り組み、対話のテーマやツールについて話し合う。

### 実践報告

・対話的な学びのテーマやツールとして上手くいった実践や上手くいかなかった実践を授業者が一人一回紹介し、全体で共有する。

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

・児童は、ICTのツール(classroom, ジャムボード, スライドなど)を使って意見を共有し、対話することができる。

・教師は、指導のねらいに沿ってICTを活用し、意見を集約したり全体に広げたりして児童の深い学びにつなげることができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間計画について[全体]	推進リーダー	4/25(月)GIGA教頭研修・第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	ICTの活用例紹介・学校研究 ICTの効果的な活用例紹介・話し合い[全体]	推進リーダー 研究主任	5/27(火)第2回GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	実践報告 授業の実践還元[全体]	担任	
7月	実践報告 1学期のふり返りと実践還元[全体]	推進リーダー 担任	
中間目標	ねらいに沿ってICTを活用する ・児童は目的をもってICTを活用し、自分の考えを発信することができる。 ・教師は指導のねらいに沿ってICTの活用場面を工夫する。		
8月	ICTの活用例紹介 ICTを活用した授業構想[個人]	推進リーダー 担任	
9月	前期のふり返り・今後に向けて[全体]	推進リーダー	9/13(火)第3回GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	学校研究 対話場面でのICT活用について[全体]	推進リーダー 研究主任	
11月	ICTの活用例紹介 ICTの効果的な活用例紹介・話し合い[全体]	推進リーダー 担任	
12月	実践報告 2学期のふり返りと実践還元[全体]	推進リーダー 担任	
中間目標	ICTを活用し、深い学びにつなげる ・児童はファイル共有や共同編集機能を通じて自分の考えを深めることができる。 ・教師は意図的・重点的にICTを活用し、児童の深い学びへとつなげる。		
1月	実践報告 授業の実践還元[全体]	担任	
2月	学校研究 対話場面でのICT活用について[研究部会]	推進リーダー 研究主任	
3月	実践報告 1年間のふり返りと次年度に向けて[全体]	推進リーダー 担任	

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(宝達志水町)立(相見小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(山田 亮)

## 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

### 成果

- ・基本的な端末操作に慣れることができた。
- ・研究授業でICTの活用を必須項目とし、年間を通して意識することができた。
- ・2学期以降は、校内での実践例の共有や、研究授業後の整理会等で、効果的なICT活用の仕方について考えることができた。
- ・児童会活動等でも、児童主体で端末の活用ができた。

### 課題

- ・基本的な操作には慣れたが、ミライシードのオクリンクを多用する等、活用の範囲が限定的であった。
- ・効果的な活用については、さらに実践を行い、共通理解を深めていく必要がある。
- ・学級間によって端末の使用頻度に差がある。

## 校内研修のアイデア

- ・定期的に校内研修会を開き、基本的な端末操作の仕方やGoogleクラスルームの活用の仕方等を学ぶ。
- ・定期的に行われる校内OJTの際に、ICT活用を学ぶ機会を多くしていく。
- ・児童の端末使用について、教員で共通理解を図り、指導にブレがないようにする。
- ・実践例を職員室に掲示し、他の教員の実践を学べるようにする。
- ・研究授業後の整理会で、ICTの活用についても触れ、効果的な活用であったかを議論する。
- ・共有ドライブを作成し、教材をためることで、誰でもすぐに参考にしたり、使用したりできるようにする。(シンキングツールやジャムボードの背景等)

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・基本的な端末操作に慣れ、様々な種類のツールを学習場面に合わせて使い分けができる。
- ・日々の授業や研究授業等を通して、効果的なICT活用について考えていく。
- ・児童主体で端末をよりよく活用していく姿を増やしていく。

月	研修メニューと担当					関連する行事等
	全体研修	職員会議後 OJT(月2人)	研究授業	ICTサポーター (月2回)	GIGA推進	
4月	校内GIGA研修会 デジタル黒板研修会	田中 尾崎		25日(月)	端末操作方法指導 (年間通して) クラスルーム作成 ICTサポーターとの連絡調整	4/25(月) GIGA校内推進研修リーダー研修ライブ配信(教頭・山田) 授業参観(端末活用)
5月	GIGA年間計画共有	山田 徳楽	尾崎(国語) 米沢(自立活動)	18日(水) 27日(金)	整理会シート作成 (ジャムボード) ICT活用のサポート	パソコンクラブ 5/17(火) GIGA校内推進研修リーダー研修(山田)
6月		川原 八島	川原(算数) 山田(社会) 徳楽(算数)	未定	ICT活用のサポート	パソコンクラブ
7月		米沢 菅	藤勝(算数) 田中(算数)	未定	ICT活用のサポート	パソコンクラブ
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端末の操作に慣れ、授業場面に合わせて様々なツールを活用することができる。</li> <li>・日々の授業や研究授業等を通して、効果的なICT活用について考えてることができる。</li> </ul>					
8月	1学期の振り返り 2学期の取組確認	尾崎 田中		未定		
9月		山田 八島	苑原(算数) 八島(国語) 鮫田(社会)	未定	ICT活用のサポート ICT実践例掲示	9/13(火) GIGA校内推進研修リーダー研修(山田) パソコンクラブ
10月		徳楽 川原	田中(体育) 川原(算数)	未定	ICT活用のサポート	パソコンクラブ
11月		米沢 菅	藤勝(国語) 尾崎(国語) 山田(算数)	未定	ICT活用のサポート	学校公開(端末活用) 相見っ子祭り パソコンクラブ
12月	2学期の振り返り 3学期の取組確認	未定	八島(算数) 米沢(自立活動) 徳楽(国語)	未定	ICT活用のサポート	パソコンクラブ
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業場面に合わせて様々なツールを活用することができる。</li> <li>・児童は、端末の使用の有無を選択する等、自分で考えながら授業を受けることができる。</li> <li>・日々の授業や研究授業等を通して、効果的なICT活用について理解する。</li> </ul>					
1月		未定	鮫田(算数)	未定	ICT活用のサポート	授業参観(端末活用) ふれあい感謝のつどい パソコンクラブ
2月		未定	苑原(社会)	未定	ICT活用のサポート	6年生を送る会 パソコンクラブ
3月	1年間の振り返り	未定		未定	ICT活用のサポート	パソコンクラブ

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<p>〈教職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての教員が、キーボード入力機能、音声入力機能、カメラ機能、ファイル共有機能、コメント機能を利用することができるようになった。</li> <li>会議や授業整理会等で共同編集機能を活用し、校務の効率化を図っている。</li> <li>学習の中で、1日2回以上ICTの活用をしている先生が、70%を越えている。残りの先生も1日一回は使っている。</li> <li>〈児童〉</li> <li>タイピング力を身につけている。→調べ学習、振り返り、まとめ等で抵抗なく速く文字入力できるようになった。(4~6年生は、1分間に60文字以上)</li> <li>プレゼン力(表現力)を身につけている。→様々な資料を取捨選択し、それを用いて発表したり、友達への発表を自分の資料に生かすことができる。</li> <li>低学年児童は、「カメラ」「オクリンク」「ジャムボード」の機能を、高学年児童は、それらの機能に加えて「検索サイトの利用」「プレゼン」の機能を使うことができるようになった。</li> <li>授業でchromebookを使うことについて、80%以上の児童が「楽しい」「便利」と実感している。また、半数以上の児童は、chromebookを活用することで授業が「分かりやすくなった」と答えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級によって端末を利用した授業の取組に温度差をなくしていく。</li> <li>今後どのようにして効果的な活用を進めていくかが来年度以降の課題である。</li> <li>そのために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>①教科の特質や授業のねらいにおいて、効果的な活用を探り実践を積み上げていく。</li> <li>②校内研修やOJTの時間を活用して、事例紹介や意見交換の時間を設ける。</li> <li>③定期的に家庭でのオンライン学習をする日を設定するなどして、その内容の幅を広げていく。</li> <li>④ICT活用の自由度を高め、授業外でも児童主体となって、プレゼンや行事等でICTを活用し、よりよい学校教育活動へとつなげていく。</li> </ul> </li> </ul>

### 校内研修のアイデア

- 2週間に1回のペースで、ミニGIGAタイムを設け、学年持ち回りで実践紹介を行う。その際、事前に活用する機能を決めておき、その機能のよさを授業の中でどのように生かしたのかが分かるように取組を紹介する。
- GIGAスクールライブラリー内の他校の実践動画を視聴し、新たな活用を発見したり、共通実践につなげたりしていく。
- 研究授業で1人1台端末を利用し、成果と課題を整理する。事後整理会ではジャムボードを活用してアイデアや有効性について意見交換し、教員自身が使い方になれるようにする。
- 学期に一回、児童と教師にICT活用についてのアンケートをフォームで行い、必要に応じて、取り組みの軌道修正を行う。
- 夏季休業中にGIGA出前研修を行い、効果的な活用について学ぶ。
- 授業外で児童主体となって、ICT活用の自由度を高められるようにする。
- 児童1人1人がクロームブックを持ち寄る集会を試みる。



### 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」 テーマ:授業内外でのICT活用能力を高め、質の高い学びをめざす

- 〈教職員〉
- 学期に1回自分の実践について5分程度で紹介する。その際、事前に活用する機能を決めておき、その機能のよさを授業の中でどのように生かしたのかが分かるように取組を紹介する。
  - 全ての教員が、キーボード入力機能、音声入力機能、カメラ機能、ファイル共有機能、コメント機能を利用することができる。
  - 会議や授業整理会等で共同編集機能を活用し、校務の効率化を図っている。
- 〈児童〉
- タイピング力を身につけている。→調べ学習、振り返り、まとめ等で抵抗なく速く文字入力している。
  - 低学年児童は、「カメラ」「ジャムボード」「オクリンク」の機能を、高学年児童は、それらの機能に加えて「検索サイトの利用」「プレゼン」「アンケート」の機能を使っている。
  - 児童主体となって、ICTを活用した場面が見られる。
    - ①委員会の発表や取組の紹介で、プレゼン機能を活用し、自分の考えや根拠を明確にして発表する姿。
    - ②全校児童がchromebookを持ち寄って、全校学活(1)を行い、chromebookを活用しながら意見を集約したり、広げたりする姿。
    - ③プレゼン機能を活用し、教科で学んだことを他学年に伝え合う姿。
    - ④「ばくのわたしの○○」をテーマに、樋川っ子プレゼン大会を行い、お互いのことについて知ったり、自分のことを他者に伝える力を養ったりしている姿。

### 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(宝達志水町)立(樋川小)学校  
GIGA校内研修推進リーダー(亀井 順平)

月	研修メニューと担当				関連する行事等
	全体研修	OJT担当	研究授業	GIGA推進チーム	
4月	・年間計画について(全体研) ・基本的な使い方や操作方法についての確認(全体研) ・GIGAスクールライブラリーの活用について(全体研)	推進リーダー 4/16 推進リーダー		・年間計画の作成、提案	4/25 GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	・ミニGIGAタイム①(OJT) ・ミニGIGAタイム②(OJT) ・模擬授業を通した研修①(全体研)	6年担任 5年担任 5年担任			全校集会(代表) 5/17 GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	・ミニGIGAタイム③(OJT) ・ミニGIGAタイム④(OJT) ・ミニGIGAタイム⑤(OJT) ・模擬授業を通した研修②(全体研)	4年担任 3年担任 こずもす担任 2年担任		・職員活用状況調査①	全校集会(保健)
7月	・ミニGIGAタイム⑥(OJT) ・ミニGIGAタイム⑦(OJT) ・ミニGIGAタイム⑧(OJT)	2年担任 1年担任 級外		・児童アンケートの集約①	全校集会(6年) 第1回プレゼン大会4~6年
<b>中間目標</b>		<b>「授業実践を通してICT活用能力を高め合う」</b>		<p>〈児童〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1日に2回以上授業で端末を利用する。</li> <li>低学年は、「カメラ」「オクリンク」「ジャムボード」などの機能を使って、自分の考えを可視化したり、友達に伝えたりしている。</li> <li>高学年は、その場に応じたツールを活用し、自分の考えや友達の考えを比較・分類・関連付けし、学びを深めている。</li> </ul> <p>〈教職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「キーボード入力機能」「音声入力機能」「カメラ機能」「ファイル共有機能」「コメント機能」等授業で端末を1日に2回以上使用する。</li> <li>共同編集機能を使って、校務の効率化を図っている。</li> <li>ミニGIGAタイムでの実践共有を通して、自己のスキルアップにつなげている。</li> </ul>	
8月	・GIGA出前研修 ・児童と教師のアンケートより、2学期以降の取り組みについて(全体研)	推進リーダー		・年間計画の改善・提案 ・実践例の整理 ・他校での取組	
9月	・ミニGIGAタイム⑨(OJT) ・ミニGIGAタイム⑩(OJT) ・模擬授業を通した研修③(全体研) ・模擬授業を通した研修④(全体研)	6年担任 5年担任 3年担任 4年担任		・前期取り組みの総括(発表資料作成)	全校集会(代表) 9/13 GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	・ミニGIGAタイム⑪(OJT) ・ミニGIGAタイム⑫(OJT) ・ミニGIGAタイム⑬(OJT) ・模擬授業を通した研修⑤(全体研) ・模擬授業を通した研修⑥(全体研)	4年担任 3年担任 こずもす担任 級外 1年担任		・職員活用状況調査②	全校集会(5年) 第2回プレゼン大会
11月	・ミニGIGAタイム⑭(OJT) ・ミニGIGAタイム⑮(OJT) ・ミニGIGAタイム⑯(OJT) ・模擬授業を通した研修⑦(全体研) ・模擬授業を通した研修⑧(全体研)	2年担任 1年担任 級外 6年担任 こずもす担任			スマイル集会 全校集会(図書) ビブリオバトル
12月	・2学期のまとめ(全体研)	推進リーダー		・児童アンケートの集約③ ・年間計画の改善・提案 ・実践例の整理	人権集会 全校集会(4年)
<b>中間目標</b>		<b>「授業でICT活用能力を高め合い、質の高い学びをめざす」</b>		<p>〈児童〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1日に2回以上授業で端末を利用する。</li> <li>低学年は、「カメラ」「オクリンク」「ジャムボード」などの機能を使って、自分の考えを可視化したり、友達に伝えたりしている。</li> <li>高学年は、その場に必要ツールを選択し活用している。自分の考えや友達の考えを比較・分類・関連付けし、学びを深めている。</li> <li>共同編集機能を活用し、委員会や行事などの場面で、意見集約をしたり、問題解決に役立っていたりしている。</li> </ul> <p>〈教職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全教員がミニGIGAタイムでの実践報告を年間3回以上行い、自己のスキルアップに励んでいる。</li> <li>どの場面でも、どのツールを使うと効果的に活用できるか考えながら、授業実践に取り組んでいる。</li> <li>共同編集機能を使って、校務の効率化を図っている。</li> </ul>	
1月	・ミニGIGAタイム⑰(OJT) ・ミニGIGAタイム⑱(OJT)	6年担任 5年担任		・職員活用状況調査③	C訪問 第3回プレゼン大会
2月	・ミニGIGAタイム⑲(OJT) ・ミニGIGAタイム⑳(OJT) ・ミニGIGAタイム㉑(OJT)	4年担任 3年担任 こずもす担任			全校集会(環境) 6年生を送る会
3月	・ミニGIGAタイム㉒(OJT) ・ミニGIGAタイム㉓(OJT) ・ミニGIGAタイム㉔(OJT) ・年間のまとめと来年度に向けて(全体研)	2年担任 1年担任 級外		・児童アンケートの集約③ ・実践例の整理 ・成果と課題の洗い出し ・実践報告の作成	

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(宝達志水町)立(志雄小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(荒牧 星児)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童教師両方ともに基本的なICTスキルが身に付いた。また、日常の一部としてICTを活用できるようになった。</li> <li>ICTの授業活用例が集まり、活用法や指導法が少しずつ蓄積できるようになった。</li> <li>授業のみならず、学校行事や児童会活動、HP配信など、幅広い分野でのICTの活用アイデアが出るようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓄積した活用例や指導法などをより効果的なものに分類、整理し、いつでも誰でもどの学年でもICTを効果的に使える体制整備やシステムの構築が必要である。</li> <li>ICTに対する意識差はほとんど見られないが、スキル面においての能力差を埋めたい。</li> </ul>

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> <li>担当月を決めて、毎研究全体会でICT活用授業実践報告 ～教科とアプリのマッチング～</li> <li>①低中高各ブロックで教科ごとに付けたい情報活用能力を定める</li> <li>②上記の情報活用能力をつけるためのICT活用を学期単位で探求</li> <li>③長期休暇で効果的だった教科ごとの活用を精選</li> <li>学期に一度、全職員での動画視聴と動画紹介</li> <li>情報モラル研修</li> </ul>

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p><b>児童</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを生活の中の身近なものとしてとらえ、基本的な操作を当たり前のようにできるようにする</li> <li>学年相応の情報モラルとマナーを身に付ける</li> <li>目的に合ったICTの使い方を選ぶことができる</li> <li>よりよく話すためにICTを効果的に活用できる</li> </ul> <p><b>教師</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アカウントやクラス管理、フォルダの整理や管理、基本的な編集・加工の操作ができる</li> <li>児童の発達段階に応じた情報モラルやマナーを指導できる</li> <li>ねらいや目的に応じてICTの使い方を考えたり工夫したりできる</li> <li>より効果的にアウトプットするためのICTの使い方を探求できる</li> </ul>

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAチーム組織</li> <li>研修の方向性の確認(全体研修)</li> <li>ICT管理やルールの確認(学習基盤チーム)</li> <li>アンケート項目の検討や作成の研修(マネジメントチーム)</li> </ul>	荒牧 荒牧 青山 山崎	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科のねらいと付けたい情報活用能力のマッチング(低中高ブロック)</li> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	各ブロック 荒牧 山崎 荒牧	要請訪問(八島)
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>指導主事参観・研究授業(全教員)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 全教員 山崎 八島	要請訪問(荒牧) A訪問(指定:井上)
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 山崎 井上	要請訪問(辻本)
中間 目標	<p>児童:目的に合わせ、アプリや使いかたを工夫して、学びにICTを生かすことができるようになる。 教師:ねらい達成という目的に合わせ、効果的なICT活用法を選ぶことができるようになる。</p>		
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラル研修(全体)</li> <li>効果的なICT活用の蓄積とまとめ(授業研究チーム)</li> <li>ICTルールの見直し・スキルタイム見直し(学習基盤チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>動画視聴レポート(全教員)</li> </ul>	荒牧 荒牧 青山 山崎 全教員	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 山崎 辻本	要請訪問(中江)
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>研究発表(低中高ブロック)</li> </ul>	荒牧 山崎 荒牧青山足津	要請訪問(井上) 研究発表会
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 山崎 青山・足津	要請訪問(中山)
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 山崎 中江・中山	要請訪問(越野)
中間 目標	<p>児童:論理的に思考・説明するために、ICTの使い方や操作を工夫し、効果的なアウトプットの為にICTを活用することができるようになる。 教師:論理的な思考やアウトプットの為に必要なICTの活用法を探究し、教科やねらいに合わせてICTを使い分けることができる。</p>		
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の蓄積とまとめ(授業研究チーム)</li> <li>ICTルールの見直し・スキルタイム見直し(学習基盤チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>動画視聴レポート(全教員)</li> </ul>	荒牧 青山 山崎 全教員	要請訪問(井表)
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 青山 井表・越野	
3月	1年間のまとめ(全教員)		